



2024年5月発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行・編集責任者

白 江 浩
集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回・火・木・金曜日発行)
2024年5月10日発行 SSKO通巻11636号

2024年度社会福祉法人ありのまま舎 開所記念会 4月1日(月)



4月1日に開所記念会を開催しました。法人設立時の理念(思い)を振り返り、新たな活動年度に向けて取り組む契機とするため、毎年節目となる4月1日に開所記念会を開催しています。コロナウイルス感染症等の予防を踏まえ、理事、評議員、入居者とご家族の方々にご出席をいただきました。

第一部の礼拝では入居者の中澤利江さんが司式を執り行いました。「社会福祉法人ありのまま舎が、ますます地域に開かれた施設となり、助けを必要としている方々の助けや光となり、日本の福祉のさがけとなつて、福祉の充実・拡大をけん引していかなければ、神様の大きな知恵と力と祝福で満たして下さい。」とお祈りをいただきました。

第二部の記念会では白江理事長より新年度に向けての説明がありました。「4月1日より法人の感染症対策を緩和します。転換点として感染者が出た場合に迅速な対応と最小限の感染者に抑え、できるだけ短時間で収束を目指すことに切り替え、今後は個々の生活の質や自己実現につながることに重きを置いていきたいと考えています。」とお話がありました。

また発生当初より支援を続けていた能登半島地震についての報告がありました。

続いて新規採用職員、各事業所とセクシヨンの責任者へ辞令交付があり、目標や抱負の発表がありました。仙台、名取、県南における地域生活支援拠点構築に向けて各事業所が連携し、取り組んで参りたいと思います。

薫る風

桜前線が仙台を超え、青森に達した。本号が出る頃はさらに北上しているだろう。そして、太白ありのまま舎中庭の遅咲きの八重桜が開き二十六年前の春を思い出す。開所して四年目の一九九八年四月十五日、太白ありのまま舎で初めて天に召されたSさんをお見送りした。以来四十九人の方が在籍中に亡くなられ、その三分に二の方をホールでのお別れ会をした。Sさんは風やシャツが肌に触れるだけで痛みが強く、五分と待たず人を呼ばれた。当初は痛みのせいで、私たちにどうしようもない中で呼ばれ、夜勤などは残されたひとりのスタッフが他の全ての入居者をカバーすることとなり、その心身の負担が大きな課題となった。しかし、それでもSさんの傍で寄り添いたいとスタッフが話してくれたことを今もよく覚えている。あれから多くの方のお見送りを経験し、Sさんが人を呼んだのは体の痛みより、死への不安、寂しさによるものではないかと考えるようになった。かつて病院生活を経験した山田三兄弟から、昨日まで隣にいた友人が急に個室に移され、そのまま帰って来なかったこと。そして数か月後に亡くなったことを知らされ、別れさえも告げられなかった口惜しさを聞いた。そして、人知れず霊安室から裏口を通って、わずかな病院スタッフに見送られ「退院」していく。それは自分自身の近未来でもあった。友人が亡くなったショックを心配した周囲の気遣いではあったが、別れを告げられなかったことはずっと心に残り辛かったと言う。ゆえにありのまま舎ではホールで入居者とスタッフが別れを告げるお見送りの会を開いてきた。むろんご遺族の了解を頂いている話だが、ご理解を頂けず、ずっと心に残っている方もいる。そんな様々な皆さんの顔が桜と共に思い出される。

(白江浩)

第24回ありのまま自立大賞第一次選考委員会

令和6年4月16日(火)

第24回ありのまま自立大賞

の選考が始まり、第一次選考委員会が東京にて行われました。

選考委員長の瑠子女王殿下に御臨席賜り、4名の選考委員が出席し推薦のあった3名1団体について協議を行いました。

瑠子女王殿下からは『「ありのまま」という言葉は最近よく使われるようになったと思いますが、多様性と言っても皆それぞれを受け取り方が違うので、だからこそ根幹にあるものをぶらさないことと、今の時代になっても、この人たちの表彰したいという強い想いがないと、ただ流されて終わってしまう、その人たちの活動をよく見てもらえなくなってしまうと思います。色々なものが変化してきている時代の中で、頑張っている人たちがすくい上げるの必要だと思っています。』と

お話を賜りました。



また『父や山田富也さんがボジティブに生きようという思いがあったから「ありのまま」の言葉もできたと思います。それが当たり前になりつつある中で、先導した人たちが代わっても続けられるような環境、視野を広げても続けていけること、でも何かが違ふとか、時代が変わってきたという変化もみなさん感じていると思うので、一歩引いた目で見ていく必要もあると思っています。委員の方も含めて、様々な想いを持っている人たちにも広げていけるような団体になった方が良いのでは?』と語っています。』と今後の自立大賞について貴重なご意見を賜りました。

選考の結果1名1団体の面接調査を行うことになり、事前に映像などをご提供いただき、オンライン等も活用しながら行うことを検討しています。5〜6月中旬に面接調査を行い、最終選考を行う予定です。

授賞式

◆日にちが変更になりました。

日時 7月13日(土)

14〜15時30分(予定)

場所 仙台市福祉プラザ



第一次選考委員会

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

穏やかな天候に恵まれ、清々しい新緑の季節になりました。

4月から法人の感染症対策が一部緩和になり、通院、外泊、入退院以外の外出は制限がなくなりまし。近隣の買い物やご家族と映画に出かけられる方など外出される方が増え、皆さん外出を楽しみにしておられる気持ちも伝わってきます。

外出においてはその方の状態によつて付き添いが必要だったり、移動手段を検討する方もおられますが、迷った方は一度スタッフに相談し、外出の予定を立てている方もおられます。

感染症対策が一部緩和となりましたが、年間を通して様々な感染症は発生しています。仙台市から毎週一回、「感染症発生動向調査情報(週報)」が発表され全体の動向を確認しながら、入居者の方にも情報提供し、外出先でもスタンダードプリコーション(標準予防策)を行い、ホームに帰ってきてからもご本人だけでなく、他の入居者の方も安心して過ごすことができるようにご協力いただいています。

今後は日中活動や就労などご本人の希望があれば選択でき、ホームでの生活の幅を広げていくことができると思っています。(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

担当している方がご利用になつている事業所・関係機関とお話することがよくあります。

ご利用している時のご様子や、希望に沿って頂けるようにする為にどのような支援が必要なのかをお聞きして、ご本人に情報提供・相談しております。

事業所・関係機関の方とお話している時に「そんな一面があったんだ」と思うことがあります。施設や訪問介護の方、医療関係の方、行政の方等、立場が変われば、見方が変わることかだと思ひます。相談員として、客観的に見てご本人のご意向に沿ってサービスを提供させて頂いています。ご本人の様々な面を踏まえて、より良いサービス等利用計画書を作成しなければと改めて感じたところです。

知らない面を教えて頂き、多面的に支援できるように相談員として多くの引き出しをもつてご本人に向き合えるように心掛けています。今後も様々な事業所の皆さんと協力して、ご本人が安心して充実した毎日を送れるように努めていきたいと思ひます。(相澤誠二)



フラワー 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中!

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りの
ご注文をスマートフォンで簡単にご予約
いただけます!

FLOWERED
花のフラワー

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1
北仙台店 仙台市青葉区昭和町5-42

TEL022-375-4411
TEL022-371-0311
TEL022-728-4411

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
「栄養マネジメント」

先月、太白ありのまま舎の厨房に新しい給湯器が入りました。突然給湯器が壊れ、約一カ月間お湯が出ず、加熱調理機でお湯を沸かし、お湯を汲むという日々でしたが、久しぶりに水道の蛇口からお湯が出て、その便利さに有難みを感じました。劣化による故障でしたが、いつ何が起こっても対応ができるように日々準備しておく事が大切だと思いました。

今回はお湯が出ませんでした。もし水が止まり、電気も使えないとなると調理にも影響が出てしまいます。特に災害時では、施設に届く食品のみで命をつながなければなりません。しかし、非常時に手に入る食品はおにぎりやパンといった炭水化物が多く、そればかりに偏ると他の栄養が不足してしまい、健康被害を引き起こすおそれが高まります。太白ありのまま舎では、その様な事態でも、対応ができるよう80人分×10日分の水や非常食、デイスポ食器等を備えています。栄養マネジメントでは、どんな状況でも「安全で美味しく、栄養の摂れる食事」を心掛け、お食事を提供していきます。

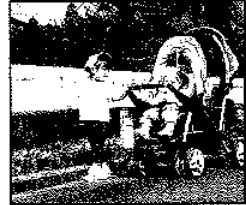
(本間佳奈)

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

晴れ渡った空に、新緑の木々、すがすがしさを感ずる季節になりました。一ヶ月が過ぎ、子どもたちも新しい環境への緊張が少しづつとけてきたところです。子どもたち同士の人見知りも落ち着き、笑顔が増えました。一人が笑っていれば、笑っている理由はわからないけれど、笑い声につられて笑い出す。それを見ていた保育者が笑うと、ますます笑いが止まらない。なんて素敵な空間なんだろうと、幸せな気持ちになります。

「笑顔は免疫力を高める」といいますが、それは笑うと身体に悪影響を及ぼす物質を攻撃してくれるリンパ球の一種のナチュラルキラー細胞の働きが活発になるからだそうです。

五月は春先の環境の変化からくるストレスによる体調不良が出やすい時期ですね。笑うことがなければ、まずは作り笑いからでもいいそうです。笑うことを増やして、体調良く過ごしていきたいですね。保育園でも一人ひとりの楽しいに寄り添って笑顔いっぱい毎日を通していききたいと思っています。



(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎】
「難病・障害者相談支援センター」

4月に名取ありのまま舎に異動してきました板橋政江です。地元出身ですが、これまでずっと市外でお仕事をしてきたので、日中名取にすることにまだ不思議な心地がしております。

さて、テーマに沿ってお話をさせていただくのが名取ありのまま舎スタイル。今回は自己紹介も兼ねて、板橋からスタートさせていたきたいと思っています。

1. マイブーム

サーキットで4輪車レースを観戦して以降、車のレース観戦がマイブームです。県外のサーキット場に行くことは難しいので、オンデマンド配信で観戦することがほとんどですが、車の性能やドライバーのテクニクだけでは勝てない、チーム対抗戦をリアルタイムで観ることが楽しみです。

2. ほっとする時間

好きなアロマオイルの香りに包まれながら、観葉植物のお手入れをするとき。今年の冬は枯れることなく無事に越冬できたので一安心でした。

3. 今後の希望

遊び心を忘れず、自分自身にイイネをつけながら成長を目指したいと思っています。

(板橋政江)

亘理エリア

【サポートケア亘理ありのまま舎】
「難病・障害者相談支援センター」

三月に亘理町中央公民館にて地域移行・地域定着の促進事業の一環として「ピア活動」を開催しました。

「ピア活動」は、亘理町内にお住いの精神障害のある方を対象に、共通するテーマに沿って、「こんな時どうしてる?」「その気持ち分かる!」などアイディアや気持ちを分かち合う場で、年四回実施しています。

はじめに、ルールについて確認し、「参加者全員が安心して話せる場作り」を行いました。その後、話し合いたいテーマを決め、そのテーマに沿って、自分の経験談や意見を出し合いました。

参加者からは「春は調子を崩しやすい。皆の話を聞いて、ありのままの自分でいれるといいなと思った」「こうした場にも参加できずに一人で悩んでいる在宅の人のサポートがしたい」などの感想が聞かれました。

ピアサポーターについて説明したところ、興味を持ち協力したいという方もいました。

今後の活動についても色々な意見が出されたため、広報の方法や内容等、参加者と共に検討していきたいと思っています。

(馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎】
「難病・障害者相談支援センター」

四月からサポートケア県南ありのまま舎に勤務しています根元香奈子です。

私の「福祉」の出発点は地元の老人ホームでの高齢者介護でした。主にデイサービスセンターや認知症の方のグループホームでのケアに長く携わりました。デイサービスセンターに在籍中、当時の事業所では初めての障害者の併用が始まりました。ご本人やご家族の生活の状況とこれからの課題を目の当たりにしたことをきっかけに、私は障害福祉分野の担い手への道に踏み出しました。

その後、就労移行支援事業所での支援員を経て、自宅や地域で困難を抱えている方々を必要支援につなぐ相談支援事業所の役割の重要性を感じ現在に至ります。

亘理町での就労は私自身初めてなので、まずは道と場所や人を覚える所からスタートしていきます。これから関わっていく利用者さんとお会いする時は、緊張しながらも楽しみに感じている自分があります。少しずつ亘理の地域性を知り、利用者さんに向き合って、一步一步信頼関係を築きながら広い視点でサポートできるように進んでいきたいと思っています。

(根元香奈子)



お花見お散歩へ!

【難病ホスピスケア亙理ありのまま舎】
「アクティヴィティケア」
亙理ありのまま舎では、学校が近くにあるという事もあり、みんなのホールや各居室、屋上から、たくさんのお花を鑑賞することが出来ます。
日中活動として、桜を鑑賞に散歩へ出ました。既に、満開を迎えた桜をみて、入居者の方は、「綺麗だね。外も気持ちいいね。」や、「満開だね!この前まで寒かったのにね。」、「俺は、花より団子!いや、お酒だね!」と、桜の花を見ながらお話ししました。桜の花があるだけで、色々な人と一緒に愛でる事ができ、穏やかな気持ちになれる、人との繋がりを感じられる、コミュニケーションの場となると思います。毎年恒例のお花見お散歩ですが、続けていきたと思っています。

新しい年度となり、春の暖かさが感じられるようになりました。桜だけでなく、様々な草木

が成長する時期になります。散歩等を通して、草花や暖かな風、虫、野鳥等を見て、季節を感じられるような活動をして行きたいと思っています。
今年度も日中活動が充実した、楽しい時を提供できるように邁進してまいります。(押樽圭)

「支援頂きありがとうございます!」
「ございました(敬称略)」

【書損じはがき等】
24 3/24 ~ 4/26

他、たくさんの方々の匿名の方々

【バザー提供】
24 3/22 ~ 4/27

(鈴木一彦)

【ボトルカンパ】
24 3/24 ~ 4/26
ありのままショップ(太白区)

4,002円
ご来店頂きましたお客様がカンパボトルを気に留めて頂き、温かなお気持ちを寄せて頂いております。大きな力になっております。

つかさ屋高森店(泉区)

17,349円

ボトルに入りきれないほど沢山のカンパをお寄せ頂きました。大変心強く、活動への大きな励みを頂いております。(鈴木一彦)

【バザー開催日の「案内」】

《2024年6月》

4日(火) コークベニマル鉤取店(太白区)

6日(木) ヨークマルシェ大和町店(若林区)

11日(火) ヨークベニマル南吉成店(青葉区)

13日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば(宮城野区)

18日(火) ヤマザワ茂庭店(太白区)

25日(火) 袋原(向日葵ライフポートセンター・太白区)

27日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば(宮城野区)

29日(土) ありのままショップセール(仙台ありのまま舎)

「協力ありがとうございます!」
「ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための封封の糊付けを、仙台北高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北平教会といずみ愛泉教会の皆様にご協力をお願いしました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいております。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道)」◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」など、基本的な感染対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

暖かくなつてくると、会報をお届けに伺う道中も仕事中ではありますが、ドライブを楽しむ時間でもあり、また、皆さんにお会いできる貴重な時間なので心が躍ります。お忙しい中、時間を作ってお手伝い下さり、本当に有難うございます。

(遠藤寿子)

医療法人社団静実会

【法人理念】「やさしさと気配りをもって、赤ちゃんからお年寄りまでを診る地域の家庭医を目指します。」を念頭に「住み慣れた町で、なじみの関係を大切にその人らしく自由に生活していただく」を推進します。

地域連携室 TEL: 022-796-6590 FAX: 022-796-6538

ないとうクリニック(内科・小児科・訪問診療・通所リハビリ)

TEL: 022-281-5490 FAX: 022-281-5491 (ないとうクリニック)

TEL: 022-796-6943 FAX: 022-796-6944 (通所リハビリ)

ないとうクリニック訪問看護ステーション

TEL: 022-796-9320 FAX: 022-796-9321

かがやき TEL: 022-796-6957 FAX: 022-796-6958

ないとうクリニック居宅介護支援事業所

TEL: 022-796-1871 FAX: 022-796-1872



第 35 回

ありのまま 生活福祉講座



日時

令和 6 年 6 月 22 日 (土)
13:30 ~ 16:00

座長

あきこじょうてんか
彬子女王殿下

場所

仙台市中小企業活性化センター
5階 多目的ホール

〒980-6105

宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

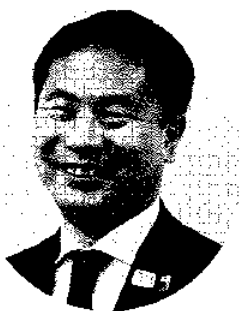
参加費

一般 2,500 円 (学割・団体割有り)
会員 2,000 円
(入会金 1,000 円、年会費 2,000 円)

寛仁親王殿下の第一女子として誕生。学習院大学を卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに留学。日本美術を専攻し、海外に流出した日本美術に関する調査・研究を行い、2010年に博士号を取得された。女性皇族として博士号の取得は史上初のことである。子どもたちに日本文化を伝えるために、ご自身で一般社団法人「心游舎」を創設、総裁に就任され、全国各地でワークショップなどを行われている。

御講話「赤と青のガウン—オックスフォードに学んで—」

講師



かわい じゅんいち

河合 純一 氏

(公益財団法人日本パラスポーツ協会理事、
日本パラリンピック委員会委員長)

1975年静岡県浜松市生まれ。15歳で全盲となる。1992年バルセロナパラリンピック大会から2012年ロンドンパラリンピック大会まで競泳日本代表として、6大会連続で出場し、金メダル5個を含むパラリンピック日本人最多の通算21個のメダルを獲得し、日本人初のパラリンピック殿堂入りを果たす。2020年より日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長。東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団団長、北京2022パラリンピック冬季競技大会団長を務めた。

御講話「パラスポーツを通して考える共生社会」

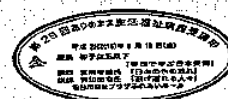
ありのまま生活福祉講座とは

福祉を身近なものとして理解して頂き、共に考えていく場となることを願い、1987年より毎回開催しているものです。当講座の座長には、前座長の故寛仁親王殿下の第一女子であられる彬子女王殿下が、第29回よりご就任くださいました。福祉にとらわれず各方面にわたって活躍されている方々を講師にお招きして開催しています。

会員特典 (限定 300 名)

福祉講座会員とは、本講座の意義をご理解頂き、長い目でご協力頂ける方になります。初回のみ入会金 1,000 円と年会費 2,000 円がかかりますが、その年の福祉講座参加費が無料となります。

また、右の受講ノートが貰え、講座に参加する度に、受講印・オリジナル座長印が押印されていきます。



ありのまま生活
福祉講座 座長
彬子女王

主催／(社福) ありのまま舎・(株) 河北新報社・tbc 東北放送 (株) 協賛／サントリー (株) 東北営業本部
後援／宮城県・仙台市



ありのまま舎とは

社会福祉法人ありのまま舎は、「難病や障害を持つ方も持たない方も、子どもも高齢者も、誰もがありのままに暮らせるコミュニティづくり」を目指しています。本講座をはじめ、難病や障害を持つ方々の顕彰など、様々な啓発活動を行っております。

受講料について

直接、チケットをお買い求めいただくか、お振込みでのお支払いが可能です。

お振込みでのお支払いをご希望される場合は、お申し込み後に当舎からご自宅へ振り込み用紙を送付いたしますので、そちらをご利用ください。

申込方法

お申し込みはお電話、FAX、メールにて可能です。お電話の際は、以下の受講申込書の内容をお伝えください。FAX、メールの場合は、以下の受講申込書にご記入の上、データをご送信ください。

申込先・お問い合わせ先

社会福祉法人ありのまま舎

〒982-8544 仙台市太白区西多賀 4-19-1

電話 022-243-1300

HP <http://www.arinomama.or.jp/>

FAX 022-243-0322

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

受講申込書

No.	お申し込みされる方について、必要事項のご記入と当てはまるものに○をお願いします。		
1	ふりがな 氏 名	【会員区分】 一般・会員・新規会員 申込み	
	住所		
	電話番号	【お支払い方法】 事前手渡し・事前お振 り込み・当日現地支払 い	
	メールアドレス		
2	ふりがな 氏 名	【会員区分】 一般・会員・新規会員申 込み	
	住所		
	電話番号	【お支払い方法】 事前手渡し・事前お振 り込み・当日現地支払い	
	メールアドレス		

2名以上でお申し込みされる場合は、この用紙をコピーしてお申し込みください。